

経営比較分析表（令和2年度決算）

北海道 長瀬上水道企業団

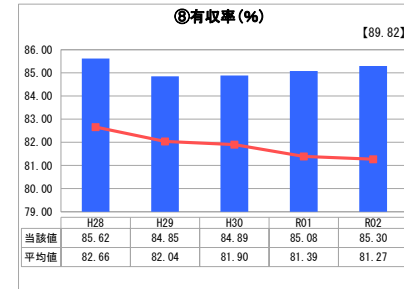
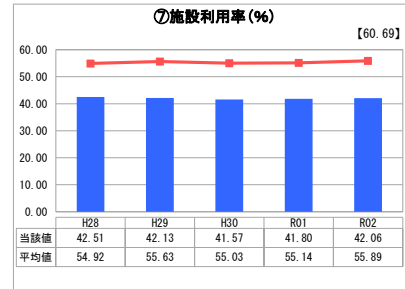
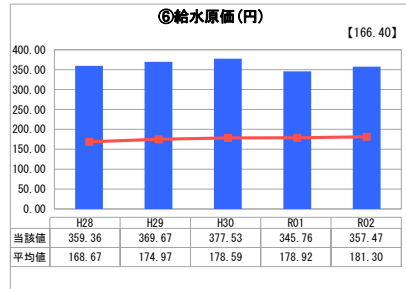
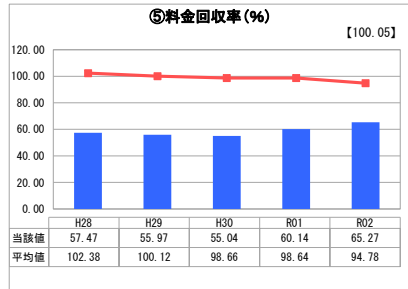
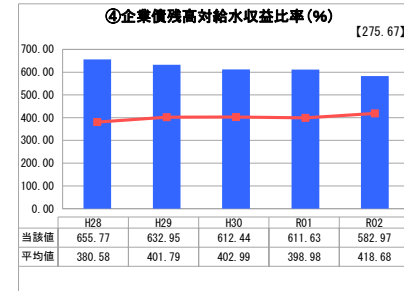
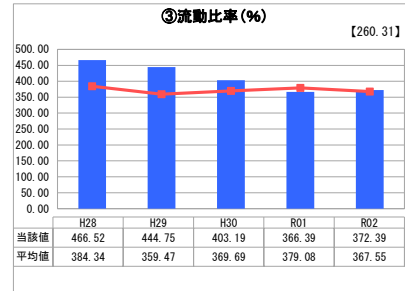
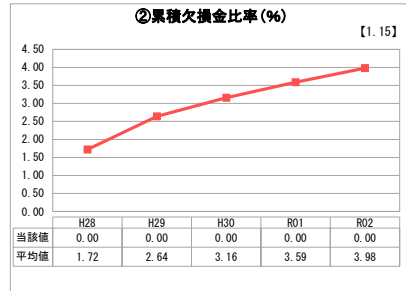
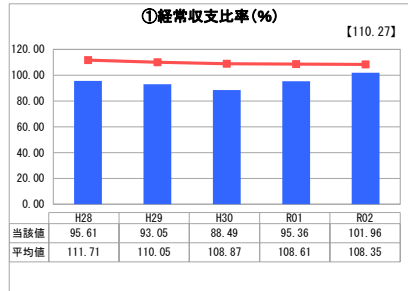
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	72.59	97.67	4,422	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,442	249.88	69.80

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

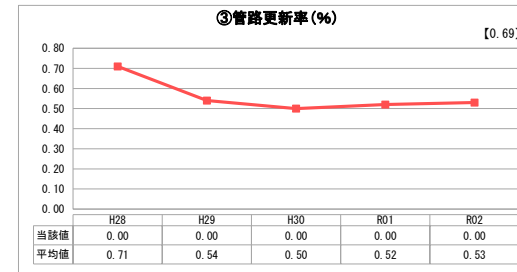
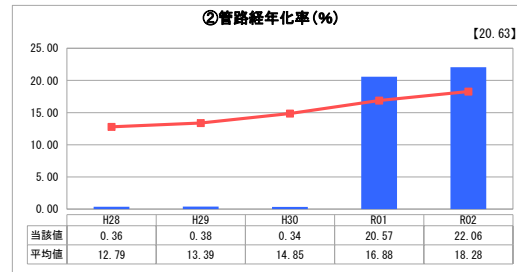
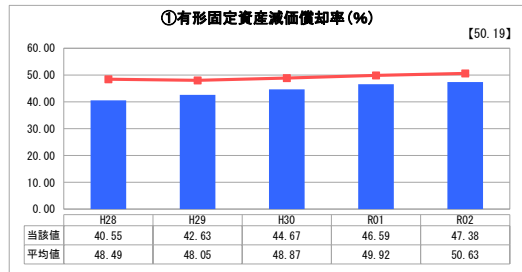
1. 経営の健全性・効率性について

[累積欠損比率] 欠損金は無く、利益剰余金ではあるが、当期純利益も計上しており問題なし。
 [流動比率] 100%以上であり支払能力ある
 [企業債残高対給水収益比率] 企業債の借入依存度は高い。
 [料金回収率] 費用を料金で回収出来ていない。
 [施設利用率] 受水施設が増えた為利用率減となっている。
 [有収率] 漏水調査を継続的に実施し現状は維持している。

2. 老朽化の状況について

管路経年劣率に関しては、昨年に引き続きアセットマネジメントの精査により、上昇している。令和4年度より、管路更新事業を行う事となっている。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和2年度に料金改定を行ったため、経常収支比率が上昇した。